

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		サービス担当者会議の実施はなされているが、記録が十分ではないので、記録の整理を期待する。	アセスメントやモニタリング項目をチェックしながら、その都度カンファレンスを行い記録に反映する。	全スタッフが問題課題に注視し、気付きや想いを汲む事を大切に考慮してパーソンセンタードケアの理解に勤め全スタッフの多角的な視点でアセスメントを行いカンファレンスでケアについて方向付けして必要とあらば利用者やご家族を含めサービス会議を行い記録する事を徹底する。	3ヶ月
2		消防訓練に於いて、夜間想定訓練はなされているが地域との連携や夜間専門職の訓練参加が求められる。	夜間専任者に於いては、リスクから鑑みても全員の参加が望ましく年に一回は参加頂ける様に勤務調整する。	地域との関りは日頃より地域の祭り等会議や行事にも参加しているため、地域に呼びかけ消防訓練にも参加を呼びかけ又、夜勤専任を無くす事によって消防訓練に参加できる様にする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。